

# 久留米市第7期高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画の進捗状況（各事業）

【平成30年度～令和元年度】

《計画期間 平成30年度～令和2年度》

- ・施策（事業）名の前にある印は、次のことを示しています。  
☆印・・・第7期において新規に取り組むものです。
- ・各施策の進捗度を踏まえ、7期計画期間における事業目的・目標の達成度を、次のとおり評価しています。

A	目標どおり・目標以上の成果があった（100%以上）
B	概ね目標どおりの成果があった（70%以上～100%未満）
C	目標とした成果は得られなかった（70%未満）
D	事業未着手
—	指標なし

## 目 次

第1章 健康づくりと介護予防の推進	1
第2章 高齢者の積極的な社会参加・参画	7
第3章 高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり	11
第4章 地域連携による高齢者支援	21
第5章 認知症施策の推進	24
第6章 高齢者の権利擁護	28
第7章 生活環境の整備	33
第8章 介護保険事業の円滑な実施	38

# 第1章 健康づくりと介護予防の推進

## 【施策の方向性】

高齢者自身やその家族が、高齢期の健康や介護予防の重要性について関心を持ち、健康づくりに主体的に取り組んでもらうため、健康づくりの推進に取り組む。

また、要介護状態等になることの防止や介護が必要になった場合の軽減や悪化防止のために、介護予防に効果のある運動などの普及啓発や個人や仲間で介護予防に取り組む意識の醸成、地域住民主体の介護予防活動の支援に取り組む。

### 1. 健康づくりの推進

#### 健康教育・健康相談・健康診査

##### 健康教育・健康相談

##### 【保健所健康推進課・地域保健課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生活習慣病の予防や健康の増進を図るため、地域での健康教育・健康相談を開催した。</li> </ul>					
	▽各種相談・啓発講座開催実績					
	事業名		実績			
			H30	R1		
	健康教育		実施 76 回 参加者数 2,733 人	実施 101 回 参加者数 2,444 人		
	お腹まわり スッキリ相談		保健指導実施 24 人 (対象者 209 人/ 実施率 11.5%)	保健指導実施 9 人 (対象者 195 人/ 実施率 4.6%)		
健康相談		実施 72 回 参加者数 2,409 人	実施 80 回 参加者数 2,710 人			
まちかど栄養・糖尿病 予防健康相談		実施 12 回 参加者数 1,268 人	実施 11 回 参加者数 1,124 人			
▽課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育の参加者について、指標の目標値には届いておらず、対象の年代に偏りがある。</li> </ul>						
指標 達成状況	指標の内容	単位	目標値	H30	R1	評価
			実績値	3,100	3,100	
	健康教育参加者数	人	達成度 (%)	2,733	2,444	B
				88.2	78.8	

##### 心の健康相談

##### 【保健所保健予防課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神的健康の保持、精神疾患の早期発見・早期治療の促進のために、精神科医による心の健康相談を実施した。(毎週木曜日、場所:久留米市保健所)</li> </ul>		
	▽事業実績		
		H30	R1
	実施回数	49 回	46 回
相談件数	89 件	78 件	

☆こころの相談カフェ		【保健所保健予防課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神的健康の保持及び社会復帰を支援するため、臨床心理士等に相談できる場を設けた。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		実績	
	開設場所	H30	R1
	岩田屋久留米	51回開設 利用者数176人 (延べ)	52回開設 利用者数156人 (延べ)
	中央図書館	17回開設 利用者数49人 (延べ)	11回開設 利用者数31人 (延べ)
	▽課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度より、平日夜間の相談窓口を図書館からみんくるへ変更し、相談時間を1時間延長するなど窓口の拡充を図ったが、利用者数は大きく伸びなかった。</li> </ul>		

特定健康診査・特定保健指導等		【保健所健康推進課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の結果により、生活習慣病発症の危険性が高く、生活習慣の改善が必要な方に対して、特定健康指導を実施した。</li> </ul>					
	▽事業実績					
	特定健康診査受診率					
		H30	R1			
		39.5% 受診者17,735人 ／対象者44,861人	39.2% 受診者17,366人 ／対象者44,315人			
		特定保健指導利用率				
	H30	R1				
	9.9% 終了者227人 ／対象者2,294人	7.4% 終了者160人 ／対象者2,173人				
	(※)令和2年5月27日時点速報値(令和元年度実績は、令和2年11月に確定するため)					
	▽課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導実施率について、県や国平均よりも大幅に低いため、特定保健指導の実施方法を見直し、保健指導を実施しやすい環境の整備を行っていく必要がある。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	35.0	40.0	
	特定健康診査 受診率	%	実績値	39.5	39.2	A
		達成度(%)	112.9	98.0		

☆こころの健康づくり講演会		【保健所保健予防課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスへの対処法やうつ病等の精神疾患に関する知識の啓発に関する講演会を開催した。令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。※H30年度より、「うつ病対策講演会」から事業名変更。</li> </ul>		
	▽事業実績		
	講演会	参加者	
		H30	R1
	こころの健康づくり講演会	172人	開催中止

### 地域における健康づくり事業

ウォーキング事業の推進		【保健所健康推進課】
実施状況	・校区ウォーキング事業に対する支援を行った。	

ラジオ体操の推進		【保健所健康推進課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操の集いを年2回開催した。(6月、10月)</li> <li>・市ホームページに自主活動団体の活動状況を掲載した。</li> </ul>		
	▽事業実績		
	事業名	実績	
		H30	R1
	CD・教本・のぼり旗配布事業	30団体へ配布 ・CD 配布 26枚 ・教本配布 263冊 ・のぼり旗 15本	10団体へ配布 ・CD 配布 10枚 ・教本配布 36冊 ・のぼり旗 8本
講師派遣事業	・2団体へ派遣 ・延べ参加者 36人	・3団体へ派遣 ・延べ参加者 226人	
指導員養成講習会	参加者 183人	-	

## 2. 介護予防の推進

### 一般介護予防事業

介護予防普及啓発事業		【長寿支援課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋力向上や脳の活性化、栄養面等さまざまな視点からの介護予防教室を実施した。</li> </ul>					
	▽事業実績					
		実績				
	事業名	H30	R1			
	ここにこステップ運動(教室型)	11会場／参加者 563 人 (延べ 13,093 人)	12 会場／参加者 632 人 (延べ 13,366 人)			
	くるめ元気脳教室	5 会場／参加者 100 人 (延べ 1,812 人)	5会場／参加者 103 人 (延べ 1,562 人)			
	口からはじまる健康長寿講座	3 会場／参加者 58 人 (延べ 272 人)	5会場／参加者 95 人 (延べ 480 人)			
	ケアトランポリン教室	1 会場／参加者 27 人 (延べ 437 人)	1会場／参加者 26 人 (延べ 380 人)			
認知症予防講座	3 会場／参加者 70 人 (延べ 195 人)	5会場／参加者 134 人 (延べ 352 人)				
<p>※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2 月末より教室を中止している。</p>						
▽課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>予防教室参加者数は目標値も達成し着実に伸びているが、教室終了後、地域で引き続き介護予防を行うための受け皿が整っておらず、継続に繋がりにくい状況である。</li> </ul>						
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	8,340		10,800
	予防教室参加者数 (延べ)	人	実績値	16,064	16,580	A
			達成度 (%)	192.61	153.5	

地域介護予防活動支援事業

【長寿支援課】

実施状況	・住民自らの主体的な介護予防の取り組みに対し、講師派遣を行った。 ▽事業実績		
	事業名	実績	
		H30	R1
	おたっしや出張講座	180回派遣 ／参加者 3,396人	171回派遣 ／参加者 3,128人
	にこにこステップ運動&スロージョギング(講師派遣)	172回派遣 ／参加者 2,901人	149回派遣 ／参加者 2,284人
	ドレミ♪で介護予防	120回派遣 ／参加者 2,118人	120回派遣 ／参加者 2,321人
	介護予防サポーター養成講座	(新規)11会場 ／参加者 546人  (フォローアップ)5会場 ／参加者 166人	(新規)11会場 ／参加者 353人  (動機付け講座)5会場 ／参加者 236人
よかよか介護ボランティア事業	活動者数 75人	活動者数 73人	
※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月末より講師派遣を中止している。 ▽課題 ・派遣型事業の充実を図り参加者は着実に伸び、介護予防活動を主体的・継続的に実施している団体は年々増加している。今後、自宅から通える「通いの場」を増やし、派遣型事業をさらに周知するとともに、継続的な活動につながるような支援の仕組みを整える必要がある。			

介護予防把握事業

【長寿支援課】

実施状況	・校区民生委員会や高齢者団体の活動などに出向き、生活不活発等により何らかの支援を要する方々の情報を早期に把握した。 ・基本チェックリストにより非該当となった者に対し、自宅を訪問するなどによって必要な支援を検討し、住民主体の通いの場や市が実施する介護予防教室などにつなげた。 ▽事業実績		
	区分	実績	
		H30	R1
	把握回数	820回	903回
把握人数・つないだ先	87人	53人	

地域リハビリテーション活動支援事業

【長寿支援課】

実施状況	・地域の高齢者団体にリハビリテーション専門職を派遣した。 ▽事業実績		
	区分	実績	
		H30	R1
	新規	15 団体、138 回、 2,171 人(延べ)	14 団体、120 回、 1,684 人(延べ)
	フォローアップ	7 団体、12 回、 169 人(延べ)	19 団体、27回、 427 人(延べ)

介護予防・生活支援サービス事業

介護予防・生活支援サービス事業（通所型サービス）

【長寿支援課・介護保険課】

実施状況	・要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応して、旧介護予防通所介護に相当するサービスや緩和した基準によるサービスの提供を行うとともに、住民主体型の介護予防の支援を行った。
------	---

介護予防・生活支援サービス事業（介護予防ケアマネジメント事業）

【介護保険課】

実施状況	・予防給付の介護予防支援と同様に、利用者の心身の状況等に応じて、適切な事業が包括的・効率的に提供されるよう専門的視点から必要な援助を行った。
------	--

## 第2章 高齢者の積極的な社会参加・参画

### 【施策の方向性】

高齢者のライフスタイルに応じた社会参加・参画を推進するため、豊富な知識や技能を活かすための就労支援、また老人クラブ活動等の支援を通じて、生きがいつくり、仲間づくりの推進に取り組む。

また、いつまでも健康で活力ある生活を送ることができるよう、学習意欲の向上や運動習慣の定着が図られるための取り組みを進める。

### 1. 高齢者の就業支援

#### 高齢者の就業支援事業

シルバー人材センター支援事業				【労政課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く意欲と多彩な技能や経験を持つ高齢者に対し、地域社会に密着した短期・臨時的就業の場を提供した。</li> <li>新たな会員の獲得へ向けた周知活動を実施した。</li> </ul> ▽事業実績					
	区分		実績			
			H30	R1		
	会員数		1,251 人	1,240 人		
契約実績		684,900 千円／ 16,308 件	699,280 千円／ 16,541 件			
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
	シルバー人材 センター会員数	人	目標値	1,350	1,400	
			実績値	1,251	1,240	
			達成度 (%)	92.7	88.6	
B						

中高年就労支援				【労政課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>久留米市ジョブプラザに就労サポーターを配置し、就労・生活に関する相談に対応した。</li> <li>福岡県中高年就職支援センターの出張相談を実施した。</li> </ul> ▽相談対応実績					
	相談内容		件数			
			H30	R1		
	就労サポーター相談		延べ 787 件	延べ 665 件		
	福岡県中高年就職支援センター出張相談		延べ 460 件	延べ 292 件		
	福岡県 70 歳現役応援センター久留米オフィス相談		延べ 5,093 件	延べ 4,662 件		
▽課題 相談件数の減少から、全国的な人手不足に伴う雇用情勢の改善が見られる。今後は、雇用のミスマッチによる早期退職等を防ぐ為、求職者のニーズにあわせた、より丁寧な相談対応が必要となる。						

高齢者雇用に関する情報発信		【労政課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所における高齢者雇用に係る理解促進を図るため、関係法令や制度などの情報提供を行った。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		H30	R1
	訪問事業所数	138 件	128 件

## 2. 生きがいづくり・仲間づくりの推進

### 老人クラブ・いこいの家活動支援事業

老人クラブ活動支援		【長寿支援課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブが行う健康づくりや生きがいづくり、地域見守り事業を支援した。</li> </ul>					
	▽課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ会員減少、会員の高齢化に伴い、これまで行っていた活動が難しくなるなどの事例が見られる。</li> <li>・補助金事務を煩雑と感じ、解散・休会を選択する単位老人クラブがある。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	44,280		44,720
	老人クラブ 活動回数	回	実績値	41,749	39,360	B
			達成度 (%)	94.2	88.0	

老人いこいの家		【長寿支援課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会奉仕活動や社会参加活動、教養の向上、趣味などの活動の場を提供し、高齢者間や多世代間の交流を図った。</li> </ul>		

## 3. 生涯学習・生涯スポーツの推進

### 生涯学習推進事業

えーるピアシニアカレッジ		【生涯学習推進課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活課題に関連した講座等を実施するとともに、受講生及び修了生の学校や施設への派遣等を行った。</li> </ul>					
	▽事業実績					
	受講者数	H30 年度	R 元年度			
		165 人	161 人			
	派遣活動	ニュースポーツや読み聞かせ、調理補助として派遣				
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	200		200
	えーるピア シニアカレッジ 受講者数	人	実績値	165	161	B
			達成度 (%)	82.5	80.5	

高齢者パソコン教室		【生涯学習推進課】	
実施状況	<p>・高齢者を対象としてパソコンの基本操作を学習する機会を提供した。</p> <p>▽事業実績</p>		
	教室講師	実績(実施回数/参加者数)	
		H30	R1
	えーるピア PC 寺子屋	5回/16人	5回/16人
えーる PC クラブ	5回/15人	5回/16人	

### 高齢者の文化・スポーツ活動の推進

高齢者社会参加促進事業		【長寿支援課】				
実施状況	<p>・高齢者の生きがいをづくりや世代間交流の促進等を目的として、スポーツ大会やシニアアート展を開催した。</p> <p>▽事業実績</p>					
	事業名	実績				
		H30	R1			
	ゲートボール大会	12 チーム/60 人参加	13 チーム/70 人参加			
	グラウンド・ゴルフ大会	358 人参加	360 人参加			
	ニュースポーツ世代間交流会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダーツ、ディスコン、風船バレー、カローリング等</li> <li>・233 人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いごてだま、ダーツ、ボッチャ、スカットボール等</li> <li>・178 人参加</li> </ul>			
シニアアート展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数 264 点</li> <li>・出品者 930 人</li> <li>・来館者数 1,193 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数 235 点</li> <li>・出品者 849 人</li> <li>・来館者数 1,009 人</li> </ul>				
▽課題						
高齢者のスポーツに対するニーズの多様化により、既存の高齢者スポーツ大会も含め、実施について検討する必要がある。						
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	1,360		1,370
	延べ参加・出品者数	人	実績値	1,581	1,457	A
			達成度 (%)	116.3	106.4	

実施状況	・健康保持・筋力維持に効果がある運動を地域で継続できるよう、団体・グループへ指導者派遣を行った。 ▽事業実績	
	H30	R1
	スポーツ教室 35 回／延べ参加者 1,501 人	26 回／延べ参加者 917 人
※令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため2月下旬以降の事業は中止している。 ▽課題 3年目の事業となり、講師派遣は1団体につき1回のため、チラシ等で周知しているが新規申し込みの掘り起しが難しくなっている。		

### 第3章 高齢者の在宅生活を支える仕組みづくり

#### 【施策の方向性】

高齢者が住み慣れた地域で在宅生活をできるだけ続けられるよう、生活支援サービスや地域の声かけや見守り活動の充実などに取り組む。また、介護家族に対する支援や災害時に迅速かつ円滑に対応できるための体制の整備、多様な主体による様々な生活支援が重層的に提供できるための仕組みづくりに取り組む。

#### 1. 一人暮らし高齢者等への在宅生活支援

##### 高齢者の見守り推進

##### 緊急通報システム貸与事業

【長寿支援課】

実施状況	・一人暮らしや日中独居状態となる等の要件に合致する高齢者等に対し、緊急通報装置の貸与を行った		
	▽貸与実績		
		実績(台数)	
		H30	R1
	受診センター方式	43台	27台
	警備員派遣方式	201台	237台

・46 校区で校区社協とふれあいの会が主導し、声かけ訪問や見守り・安否確認を行った。また、訪問活動を通じた食事サービスやサロンを実施した。

▽事業実績

内 容	実績	
	H30	R1
延べ訪問回数	226,250 回	241,612 回
食事サービス	23,777 食提供	23,185 食提供
いきいきサロン	延べ 1,862 回 開催	1,985 回 開催

(補足)

・R1 年度実績は 7 月 2 日時点で把握できた実績。まだ報告書が出ていない校区がある。食事サービスの食数やいきいきサロンの回数は、補助金の算定根拠になったもののみ。

※補助金算定根拠  
 食事サービス:会食及び配食合わせて年間合計6回までを補助対象  
 いきいきサロン:1サロン年間12回までを補助対象

(参考)補助金算定根拠を考慮しなかった場合の食事サービス及びいきいきサロンの実績(R1)  
 食事サービス:27,121 食、いきいきサロン:2,667 回

▽課題

・活動者の高齢化が進行しており、新たな活動の担い手確保が課題となっている。

指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価
			目標値	135,000	
	ふれあいの会 訪問回数	回	実績値	226,250	241,612
達成度 (%)		167.6	176.4		

地域における見守り活動の推進

【地域福祉課】

実施状況

- ・事業者や市などの関係機関が協力し、「くるめ見守りネットワーク」に取り組み、地域全体での見守り活動を行った。
- ・365日、24時間体制で見守りほっとライン対応を行い、必要に応じ関係機関や関係部局等と連携し、安否確認などを行った。
- ・情報紙「くるめ見守り通信」の発行や、協力事業者向け研修会、出前講座の実施等により、事業の広報啓発を行った。

▽事業実績

	H30	
	H30	R1
通報実績	41件 (うち 孤立死7件、 救出1件)	46件 (うち 孤立死6件、 救出5件)

▽課題

- ・くるめ見守りネットワークが市民にとって身近なものとなるよう、継続して周知啓発を行う必要がある。

SOSネットワーク事業

【長寿支援課】

実施状況

- ・SOSネットワークや福岡県の防災メール「まもるくん」を利用した行方不明者の捜索を実施した。
- ・警察に保護された行方不明高齢者等を速やかに家族のもとへ送り届けるために、「高齢者あんしん登録制度」への登録を促進した。

▽事業実績

事業内容	件数	
	H30	R1
SOSネットワークを利用した行方不明者捜索	37件	24件
高齢者等あんしん登録制度新規登録件数	173件	96件

## ボランティアセンター運営事業

### ボランティアセンター運営事業

【久留米市社会福祉協議会】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターを運営し、ボランティア利用希望者・団体とボランティア活動希望者・団体との調整(ニーズの把握及びマッチング)を行った。</li> <li>・ボランティア活動団体の組織化や育成を支援した。</li> <li>・ボランティア活動情報や支援情報の収集及び提供を行った。</li> </ul> ▽事業実績		
		実績	
	事業内容	H30	R1
	既存団体の組織強化講座	参加者 20 人	参加者 3 人
	ボランティア活動入門講座	参加者 27 人	修了者 18 人
	情報紙の発行	年 6 回 ／400 部発行	年 6 回 ／400 部発行
	災害ボランティア入門・職員向け講座	参加者 46 人	講師の災害対応と新型コロナウイルス感染症の影響で中止
	災害ボランティアセンター設置運営訓練	参加者 9 団体 73 名	参加者 9 団体 174 名
中高生ボランティア講座	参加者 11 人	修了者 9 人	
ゲストティーチャーの派遣	59 回	62 回	

## 介護予防・生活支援サービス事業

### 介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス）

【長寿支援課・介護保険課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応し、専門職が短期間集中のサービスや旧介護予防訪問介護に相当するサービス、緩和した基準によるサービス提供を行った。</li> </ul>
------	---

### 介護予防・生活支援サービス事業（その他の生活支援サービス）

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応し、地域における自立した日常生活支援のため、訪問型サービス・通所型サービスの一体的な提供に向けた検討を行った。</li> </ul>
------	--

## 2. 介護家族への支援

### 家族介護支援事業

家族介護教室			【長寿支援課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅介護において必要となる基本的な知識及び介護技術の習得を目的とする「介護技術講座」を実施した。</li> <li>認知症に関する基礎的な知識を習得するとともに、介護者のストレスケアを行うことを目的とする各種講座を実施した。</li> </ul> ▽事業実績					
	講座内容		実施回数／参加者数			
			H30	R1		
	介護技術講座		2回／参加者21人	2回／参加者28人		
	体調管理講座		2回／参加者18人	2回／参加者18人		
	認知症ケア講座		2回／参加者29人	2回／参加者25人		
ストレスケア講座			2回／参加者23人	2回／参加者14人		
▽課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は達成しているものの、参加者がなかなか集まらない講座がある。各講座の内容が効果的に伝わるような周知の方法を検討する必要がある。</li> </ul>						
指標達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	68	71	
	教室参加者数	人	実績値	91	85	A
			達成度 (%)	133.8	119.7	

生活支援ショートステイ			【長寿支援課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的に養護する必要がある等理由による高齢者の短期間入所について、ケアハウス、養護老人ホーム及び特別養護老人ホームへの委託により実施した。</li> </ul> ▽事業(利用)実績					
	区分		件数			
			H30	R1		
	ケアハウス		0件(利用日数計0日)	1件(利用日数計3日)		
	養護老人ホーム		4件(利用日数計16日)	5件(利用日数計24日)		
	養護老人ホーム (生活保護受給者)		2件(利用日数計10日)	0件(利用日数計0日)		
特別養護老人ホーム		3件(利用日数計14日)	2件(利用日数計11日)			

介護用品支給事業		【長寿支援課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護者の介護負担の軽減を図り、在宅での生活支援を目的として、紙おむつ購入代金の一部として介護用品給付券を交付した。</li> </ul> ▽事業実績		
		H30	R1
	支給決定者数	605 人	689 人
	延べ利用者数	4,571 人	4,772 人
	登録事業所数	13 事業所	12 事業所
支給総額	13,295 千円	13,868 千円	

☆家族介護慰労金		【長寿支援課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護 4 以上の高齢者を在宅介護している家族に対し、家族介護慰労金を支給した。</li> </ul> ▽事業実績		
		H30	R1
	支給決定者数	5 人	5 人
	支給総額	600 千円	600 千円

☆介護離職防止啓発事業		【労政課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事と介護を両立できる職場環境づくりの促進を目的に事業所訪問や情報紙の発行を通じて、介護休業制度に関する情報提供を行った。</li> <li>介護休業制度導入などの就業規則の改正等に対し、費用助成等を行った。</li> </ul> ▽事業実績					
	事業内容	実績				
		H30	R1			
	事業所訪問	138 件	128 件			
ワークライフバランス推進助成金	4 件	5 件				
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			1	2		
	延べ助成数	件	実績値	4	5	A
			達成度 (%)	400	250	

### 3. 災害時のための援護体制等

#### 避難行動要支援者の支援

避難行動要支援者の支援		【地域福祉課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の避難行動要支援者に係る人的被害の軽減を図るために、迅速な避難情報伝達や安否確認のための支援体制構築に取り組んだ。</li> <li>▽実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者の名簿制度の見直しを行い、各避難支援等関係者と要支援者支援に係る協定締結や新様式変更後の名簿を各校区と共有を行った。</li> <li>・名簿登録対象者への登録促進文書を送付(7,600件)するなど登録を促した。</li> <li>・避難行動要支援者名簿登録制度及び名簿の活用方法の支援関係機関の専門職等を通じた周知・啓発を行った。</li> </ul> </li> <li>▽課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者について、名簿への登録促進や名簿の活用方法の周知、支援体制の構築をさらに図っていく必要がある。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">※避難行動要支援者のうち、名簿に登録されている人の割合</p>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	-	50	
	※名簿登録率	%	実績値	49	50	A
			達成度 (%)	-	100	

☆福祉避難所の充実		【地域福祉課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽H30               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時において、要配慮者が安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所の開設・運営訓練を行った。</li> <li>・福祉避難所の広域連携協定を締結した(久留米市老人福祉施設協議会、久留米市障害者支援施設協議会)。</li> </ul> </li> <li>▽R1               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各福祉避難所に看板の配布を行った。</li> <li>・福祉避難所の開設・運営の方法についての従事者説明会を実施。 (※令和元年度の福祉避難所の開設・運営訓練については、大雨災害のため中止。)</li> </ul> </li> <li>▽課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の災害等における課題を踏まえた、現実に即した福祉避難所マニュアル整備が必要である。</li> </ul> </li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	1	1	
	福祉避難所開設・運営訓練の実施回数	回	実績値	1	0	B
			達成度 (%)	100	0	

## 高齢者宅や介護保険施設等への防火・防災指導

### 高齢者宅等への防火指導

【久留米広域消防本部】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火・防災指導を希望する一人暮らしの高齢者宅及び緊急通報システム設置者宅を訪問し、事業を実施した。</li> <li>・地域の会合等の機会を活用し、集団指導を実施した。</li> </ul>					
	▽事業実績					
	事業内容		件数			
			H30	R1		
	一人暮らし高齢者宅防火指導	147人	中止			
	緊急通報システム設置者宅防火指導	153人	150人			
	高齢者集団指導	849人	1,150人			
	※令和元年度は新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため一人暮らし高齢者宅防火指導中止している。					
	▽課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者に指導を行っているため、長期間防火指導を実施できていない人が多い。</li> <li>・高齢者が集まる機会に実施する集団指導は、意欲的な地域からの派遣依頼はあるが、一度も指導できていない地域もあるため、地域差が生じている。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	450	450	
	防火指導件数	世帯	実績値	1,149	1,300	A
			達成度 (%)	253.3	188.8	

### 介護保険施設等への防火指導

【久留米広域消防本部】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険施設等からの依頼に基づき、施設責任者及び従業員を対象として防火指導を実施した。</li> </ul>					
	▽事業実績					
			H30	R1		
	防火指導実施件数		101施設	86施設		
防火指導実施人数 (施設責任者・従業員)		3,448人	2,972人			
	▽課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火意識が高い施設は毎年指導しているが、複数年にわたり防火指導を実施できていない施設もあり、すべての施設に指導できていない。</li> </ul>					

#### 4. 生活支援サービスの体制整備

##### 生活支援コーディネーターの配置

生活支援コーディネーターの配置		【地域福祉課】																																
実施状況	<p>・地域における支え合いの仕組みづくりに向けて、生活支援コーディネーターが地域のニーズ把握、担い手の育成、関係機関とのネットワーク化を行った。</p> <p>▽事業実績</p> <p><b>【H30:生活支援コーディネーター5名配置】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ</td> <td>522件</td> </tr> <tr> <td>関係者のネットワーク化</td> <td>219件</td> </tr> <tr> <td>目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一</td> <td>84件</td> </tr> <tr> <td>生活支援の担い手の育成やサービスの開発</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【R1:生活支援コーディネーター11名配置】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起</td> <td>643件</td> </tr> <tr> <td>周知啓発</td> <td>249件</td> </tr> <tr> <td>連携促進</td> <td>576件</td> </tr> <tr> <td>規範的統合</td> <td>607件</td> </tr> <tr> <td>生活支援の担い手の育成やサービスの開発</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td>マッチング</td> <td>139件</td> </tr> <tr> <td>個別支援</td> <td>205件</td> </tr> <tr> <td>市との連携</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>スキルアップ</td> <td>423件</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽課題</p> <p>・支え合い推進会議の中で、新たな生活支援サービスの創出及び既存活動の充実支援を行っているが、担い手の養成や仕組みづくり等について協議を重ねているため、活動実施までに時間を要している。</p>		内容	件数	地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	55件	地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ	522件	関係者のネットワーク化	219件	目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	84件	生活支援の担い手の育成やサービスの開発	3件	内容	件数	地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	643件	周知啓発	249件	連携促進	576件	規範的統合	607件	生活支援の担い手の育成やサービスの開発	98件	マッチング	139件	個別支援	205件	市との連携	39件	スキルアップ	423件
	内容	件数																																
	地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	55件																																
	地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ	522件																																
	関係者のネットワーク化	219件																																
	目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	84件																																
	生活支援の担い手の育成やサービスの開発	3件																																
	内容	件数																																
	地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	643件																																
	周知啓発	249件																																
	連携促進	576件																																
	規範的統合	607件																																
	生活支援の担い手の育成やサービスの開発	98件																																
	マッチング	139件																																
	個別支援	205件																																
市との連携	39件																																	
スキルアップ	423件																																	

協議体（支え合い推進会議）の設置

協議体（支え合い推進会議）の設置		【地域福祉課】																										
実施状況	<p>・地域における支え合いの仕組みづくりに向け、市民活動団体、民間企業、住民組織など地域の生活支援サービスに関わる関係者等が参画し、地域の現状把握や課題整理、地域ニーズと活動のマッチング等を行う「協議体(支え合い推進会議)」を設置した。</p> <p>▽事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支え合い推進会議の登録</td> <td>28 校区</td> <td>37 校区</td> </tr> <tr> <td>地域ニーズ、既存の地域資源の把握、情報の見える化の推進</td> <td>81 件</td> <td>55 件</td> </tr> <tr> <td>企画、立案、方針策定</td> <td>9 件</td> <td>69 件</td> </tr> <tr> <td>地域づくりにおける意識の統一</td> <td>40 件</td> <td>49 件</td> </tr> <tr> <td>支え合い推進会議研修会の実施</td> <td>2 回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>広報チラシ「支え合い通信」発行</td> <td>3 回</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・支え合い推進会議シンポジウム、地域の支え合いブロック別交流研修会の実施(R1)。</p> <p>▽課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い推進会議の設置について、消極的な校区がある。</li> <li>・地域ニーズを踏まえた具体的な活動実施や、社会福祉法人やNPO等の多様な主体との連携に時間を要している。</li> </ul>					事業内容	実績		H30	R1	支え合い推進会議の登録	28 校区	37 校区	地域ニーズ、既存の地域資源の把握、情報の見える化の推進	81 件	55 件	企画、立案、方針策定	9 件	69 件	地域づくりにおける意識の統一	40 件	49 件	支え合い推進会議研修会の実施	2 回	2回	広報チラシ「支え合い通信」発行	3 回	2 回
	事業内容	実績																										
		H30	R1																									
	支え合い推進会議の登録	28 校区	37 校区																									
	地域ニーズ、既存の地域資源の把握、情報の見える化の推進	81 件	55 件																									
	企画、立案、方針策定	9 件	69 件																									
	地域づくりにおける意識の統一	40 件	49 件																									
	支え合い推進会議研修会の実施	2 回	2回																									
広報チラシ「支え合い通信」発行	3 回	2 回																										
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価																							
	協議体設置数	小学 校区	目標値	25		35																						
			実績値	28	37	A																						
		達成度 (%)	112.0	105.7																								

## 第4章 地域連携による高齢者支援

### 【施策の方向性】

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの周知や機能の充実に取り組む。また、医療、介護、福祉などの多職種連携による個別課題の解決や地域課題を踏まえた政策形成につなげるため、地域ケア会議を開催・運営するとともに、在宅医療と介護の連携を図るため、在宅医療介護連携センターを運営する。

#### 1. 地域包括支援センターの機能充実

##### 地域包括センター運営事業

地域包括支援センター運営事業			【長寿支援課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアの中核機関として、地域の関係機関・団体等とのネットワークを構築しながら、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のための支援を行った。</li> </ul>					
	▽事業(地域包括支援センター業務)実績					
		事業内容		件数		
			H30	R1		
	総合相談	26,086件	29,197件			
	連携業務	1,966件	2,000件			
	▽課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの認知度について、要支援者の認知度は6割程度だが、一般高齢者では「知らない」人が過半数を占めている。今後は高齢者に対し、要支援・要介護認定者以外でも利用できることの周知を進めていくとともに、周知方法の工夫を図っていく必要がある。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	—	45	
	地域包括支援センター の認知度	%	実績値	—	40.9	B
			達成度(%)	—	90.9	

## 2. 地域ケア会議の効果的な運営

### 地域ケア会議の推進

地域ケア会議の推進		【長寿支援課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を抱える高齢者への適切な支援を行うため、関係機関・団体等との連携のもと、地域ケア会議を開催した。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		開催状況	
		H30	R1
	自立支援地域ケア会議	250回	250回
	個別支援地域ケア会議	43回	46回
	地域課題検討ケア会議	95回	45回
地域ケア会議専門部会	1回	1回	
▽課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題検討ケア会議の内容、委員が市社会福祉協議会の支え合い推進会議と重複している部分があり、今後地域課題検討ケア会議のあり方について検討する必要がある。</li> </ul>			

### 3. 在宅医療・介護連携の推進

#### 在宅医療・介護連携に向けた資源の把握及び課題抽出と対応策の検討

在宅医療・介護連携に向けた資源の把握及び課題抽出と対応策の検討	
【保健所健康推進課】	
実施状況	<p>▽H30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療介護に関連する社会資源情報について、最新情報の把握に努めた。</li> <li>「人生の最終段階における医療とケア」の普及啓発について、在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、課題の抽出を行った。</li> </ul> <p>▽R1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携推進協議会において、「人生の最終段階における医療・ケア」の普及啓発について、協議会の下に部会を設置し、意思決定支援のためのフォーマットの内容等について協議を行った。</li> <li>意思決定支援のための啓発冊子「私の生き方ノート」を作成した。</li> </ul>

#### 在宅医療・介護連携に係る関係者の人材育成及び市民への普及啓発

在宅医療・介護連携に係る関係者の人材育成及び市民への普及啓発	
【保健所健康推進課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携の取り組みの推進のため、4医師会に「在宅医療・介護連携センター」を設置し、関係機関からの相談受付や出前講座等による市民への普及啓発を実施した。</li> <li>入退院時における在宅医療・介護連携を図ることを目的とした退院調整ルールについて、「入退院調整部会」において協議をした上で、様式を見直した。</li> <li>急な入院で家族等がケアマネジャーに連絡が出来ない場合などに、病院とケアマネジャーが連絡を取りやすくするために保険証セットカバーを作成し、配布した。</li> </ul> <p>▽課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退院調整ルールについて、制度の活用が図られるよう、様式等の見直しを行ったが、制度が十分に浸透していないため、より利用しやすい制度にするための検討が必要。</li> </ul>

## 第5章 認知症施策の推進

### 【施策の方向性】

認知症への理解を深めるための普及・啓発や認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護サービス等が提供される仕組みづくりに取り組む。

また、若年性認知症の人やその家族が適切な支援が受けられるよう、関係機関との連携を強化する。

#### 1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発

##### 認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成

##### 認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症について正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を見守り支える認知症サポーターの養成講座や、その養成講座の講師を担うキャラバン・メイトの養成研修を実施した。</li> <li>キャラバン・メイトの知識と質の向上を目的として、フォローアップ講座を実施した。</li> </ul>					
	▽事業実績					
		開催回数		参加人数		
		H30	R1	H30	R1	
	認知症サポーター養成講座	79回	80回	3,308人	5,041人	
	キャラバン・メイト養成研修	-	1回	-	18人	
	キャラバン・メイトフォローアップ講座	1回	-	20人	-	
	▽課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーターの量的拡大を図ることに加え、認知症サポーターが活躍できる新たな仕組みについて検討する必要がある。</li> </ul>					
指標達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	28,675	32,675	
	認知症サポーター養成人数(延べ)	人	実績値	27,784	32,825	
			達成度(%)	96.9	100.5	A

## 認知症予防地域講演会の開催

認知症予防地域講演会の開催		【長寿支援課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会を開催し、認知症の予防や早期の気づきと対応、地域で認知症の人とその家族を支える仕組みの理解促進に努めた。</li> </ul> ▽開催実績				
	事業内容	参加者数			
		H30	R1		
認知症予防地域講演会	参加者 531 人 (市内 5 地域)	参加者 324 人 (市内 5 地域)			
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価
	認知症講演会 参加者数	人	目標値	400	
			実績値	531	324
			達成度 (%)	132.8	81.0
					B

## 2. 認知症に早期に気づき対応できる仕組みづくり

### 認知症早期診断・早期対応の推進

認知症支援ガイドブックを活用した普及・啓発		【長寿支援課】			
実施状況	▽H30				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症支援ガイドブックの内容改訂のため、オレンジ会議を立ち上げ、改訂を行い、認知症に関する普及・啓発を行った。</li> <li>平成 28 年に作成したガイドブックは 35,000 部配布した。</li> </ul>				
	▽R1				
<ul style="list-style-type: none"> <li>全戸配布版認知症支援ガイドブックを作成し、配布した。</li> <li>改訂を行った認知症支援ガイドブックは、出前講座や認知症サポーター養成講座での配布を中心に、令和元年度で 1 万 5 千部配布。</li> </ul>					
▽課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症支援ガイドブックが紙媒体であるため、制度改正等に即時に対応できない。</li> </ul>					

認知症地域支援推進員の配置		【長寿支援課】
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央、東、西、南、北の各圏域の地域包括支援センターに1人ずつ、認知症地域支援推進員を配置した。</li> <li>・認知症声かけ訓練を実施した(H30に17校区、R1に11校区)。</li> <li>・介護保険事業と連携し、認知症介護家族のレスパイトの場を実施した。</li> </ul>	

認知症初期集中支援チームの運営		【長寿支援課】
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回、介入者への介入方法等を検討するチーム員会議を実施した。</li> <li>・認知症初期集中支援チームの活動状況やチームの活動における関係機関との具体的な連携方法、認知症の早期の発見及び治療につなげるシステムの構築等についての協議を行う「認知症医療連携会議」を実施した。</li> </ul>	
	▽事業実績	
	H30	R1
	対応件数(延べ)	37件 50件
	▽課題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の介入拒否が強く、安定的な関係性構築がしにくい。困難事例が多く、支援機関が長引くケースがある。</li> </ul>	

認知機能チェック		【長寿支援課】																						
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、「ものわすれ予防検診」を実施し、軽度認知症の早期発見に努めた。</li> <li>・検診参加者を、必要に応じ久留米大学病院のもの忘れを診療・診断する専門窓口での受診につなげた。</li> <li>・検診に加え、認知機能の簡易検査を取り入れた認知症予防講座を開催した。</li> </ul>																							
	▽事業実績																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">実施場所(市内)</th> <th rowspan="2">利用料</th> <th colspan="2">参加者数</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ものわすれ 予防検診</td> <td>5会場</td> <td>5会場</td> <td>無料</td> <td>・96人 ・うち認知症 疑い33人</td> <td>・98人 ・うち認知症 疑い33人</td> </tr> <tr> <td>認知症 予防講座</td> <td>3会場</td> <td>5会場</td> <td>無料</td> <td>70人</td> <td>134人</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	実施場所(市内)		利用料	参加者数		H30	R1	H30	R1	ものわすれ 予防検診	5会場	5会場	無料	・96人 ・うち認知症 疑い33人	・98人 ・うち認知症 疑い33人	認知症 予防講座	3会場	5会場	無料	70人	134人
事業名	実施場所(市内)			利用料	参加者数																			
	H30	R1	H30		R1																			
ものわすれ 予防検診	5会場	5会場	無料	・96人 ・うち認知症 疑い33人	・98人 ・うち認知症 疑い33人																			
認知症 予防講座	3会場	5会場	無料	70人	134人																			
	▽課題																							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症予防講座」で実施する認知機能検査について、より簡易でより多くの対象者へ実施していけるような検査方法を検討していく必要がある。</li> </ul>																							

☆福岡県若年性認知症サポートセンターとの連携		【長寿支援課】
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米市認知症予防地域講演会の1回を、若年性認知症をテーマに開催した。</li> <li>・認知症支援ガイドブック改訂にあたり、「福岡県若年性認知症サポートセンター」の福岡県若年性認知症支援コーディネーターの助言を参考に若年性認知症のページを拡充した(H30)。</li> <li>・県主催若年性認知症交流会の久留米市開催のため、開催支援(会場提供・設営・運営補助)を行った(R1)。</li> </ul>	

### 3. 認知症の人を介護する家族への支援

#### 認知症の人を介護する家族への支援

##### ☆認知症カフェ等への支援 【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立防止や介護負担の軽減を目的とした認知症カフェ等について、ホームページやチラシ配布等を行い、情報発信に努めた。</li> <li>▽課題</li> <li>・どのような形で支援を行っていくか、検討する必要がある。</li> </ul>
------	--

##### 認知症介護電話相談 【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人やその家族が抱える悩みや不安について、認知症家族介護経験者による電話相談を実施した。</li> <li>▽事業実績</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="2">実施回数／相談件数</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>毎月 2 回／21 件</td> <td>毎月 2 回／18 件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽課題</li> <li>・相談件数が減少傾向にある。</li> </ul>	事業内容	実施回数／相談件数		H30	R1	電話相談	毎月 2 回／21 件	毎月 2 回／18 件
事業内容	実施回数／相談件数								
	H30	R1							
電話相談	毎月 2 回／21 件	毎月 2 回／18 件							

##### ☆行方不明高齢者位置情報検索サービス利用者補助事業 【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者等が行方不明となった場合の早期発見及び事故防止を図るため、位置情報検索サービスの利用開始に係る費用の一部を助成し、H30 に 2 件、R1 に1件の申請があった。</li> </ul>
------	--

##### (関連) 認知症高齢者等支援事業（認知症高齢者等個人賠償責任保険） 【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人を被保険者とする保険に市が加入することで、認知症の人やその家族が在宅で生活するうえでの経済的・精神的な負担の軽減を図った。(H30 年度より実施)</li> <li>H30 被保険者数:162 人      R1被保険者数:213 人</li> <li>▽課題</li> <li>・個人賠償単独で加入できる民間の保険も出てきており、8期計画に向けて、費用負担のあり方について整理する必要がある。</li> </ul>
------	---

## 第6章 高齢者の権利擁護

### 【施策の方向性】

判断能力が十分でない高齢者が、尊厳のある生活を維持し、安全に暮らせるように成年後見制度の周知・啓発や成年後見センターを中心とした相談支援等に取り組みます。また、高齢者虐待の防止に向けた周知・啓発を図るとともに、関係団体や地域と協力連携して、虐待事案の未然防止、早期発見・早期対応に努めます。

#### 1. 成年後見制度の普及・利用促進

##### 成年後見制度の普及・利用促進

成年後見制度利用支援事業		【長寿支援課】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の市長申立てや申立てに係る費用及び後見人に対する報酬補助を行い、円滑に申立てにつなげた。</li> <li>・成年後見制度への理解を促すための講演会を開催した。</li> </ul> ▽事業実績		
		実績	
		H30	R1
	市長申立て	12件	23件
申立て費用・後見人への報酬補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請 20件(うち補助 11件)</li> <li>・補助金額 1,020千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請 11件(うち補助 4件)</li> <li>・補助金額 339千円</li> </ul>	

実施状況

- ・成年後見センターを運営し、制度についての相談対応や制度利用の際の支援を行った。
- ・市民や介護サービス事業者を対象として、成年後見制度の普及・啓発に関する講演会を開催した。(成年後見普及啓発事業)
- ・市民後見人候補者を対象に、市民後見人として必要となる知識等について学ぶ講座を実施した。(市民後見人養成講座、市民後見人活動支援事業)

▽事業実績

事業内容	実績	
	H30	R1
成年後見センター相談件数	386 件	464 件
成年後見普及啓発事業参加者	95 人	48 人 (1 回中止)
市民後見人候補者活動支援事業参加者	74 人	77 人 (2 回中止)
市民後見人養成講座	32 人	開催なし

※成年後見普及啓発事業と市民後見人候補者活動支援事業の中止については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

▽課題

- ・早期の中核機関立ち上げに向け、具体的機能と運営方針についての検討が必要である。
- ・受任者調整の体制づくり及び地域連携ネットワークの構築に向け弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等関係機関と協議が必要である。

## 2. 虐待防止・早期発見・早期対応

### 虐待防止及び早期発見・対応

#### 虐待防止及び早期発見・対応

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に関する相談や通報に早期に対応し、適切な機関等につなぐなどの支援を行った。</li> </ul>						
	▽事業実績						
			H30	R1			
	虐待通報・相談件数		84件	98件			
	うち虐待認定件数		59件	57件			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養介護施設職員や民生委員、市民に対して、高齢者虐待防止のための研修会を実施した。</li> </ul>						
	▽虐待防止研修実績						
	講座・研修	参加者数					
			H30	R1			
	市民向け虐待防止啓発講座		66人	9人			
	養介護施設従事者向け研修		408人	271人			
実施状況	▽課題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護者の介護負担の軽減と認知症への理解促進を進める必要がある。</li> <li>・施設従事者等について、職員のスキル向上やノウハウの蓄積により、通報等への対応の早期化に繋げていく必要がある。</li> </ul>						
	指標 達成状況	指標の内容 (発生件数/高齢者人口)	単位 %		H30	R1	評価 A
				目標値	0.07	0.07	
実績値				0.07	0.07		
	達成度(%)		100.0	100.0			

### 3. 高齢者の権利擁護等に関する相談支援

#### 多様な相談支援の実施

消費者被害の防止と救済		【消費生活センター】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座等の啓発事業を実施し、多種・多様化する消費者被害の未然防止・早期発見を図った。</li> <li>消費生活に関するさまざまな相談事業を実施した。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		実績	
		H30	R1
	出前講座参加者数	3,375 人	4,319 人
	くらしのカレッジ参加者数	226 人	135 人
	金融経済講演会	207 人	180 人
	相談(総数)	3,001 件	3,088 件
	▽課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者を狙った悪質商法等の多様化に対応した、最新の注意情報等を今後も継続して周知する必要がある。</li> </ul>		

高齢者相談事業		【広聴・相談課】	
実施状況	高齢者の日常生活における困りごと等に対応し、各種支援制度や窓口等につなげた。		
	▽事業実績		
		H30	R1
	高齢者からの相談件数	314 件	383 件

女性のための生き方支援相談		【男女平等推進センター】	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待やDV等さまざまな問題を抱える女性からの相談に対応し、支援を行った。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		H30	R1
	総合相談件数	3,619 件	3,747 件
	うち 60 歳以上	516 件	533 件
	法律相談件数	95 件	79 件
	うち 60 歳以上	14 件	12 件
	▽課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者からの相談は年々増加傾向にあり、相談内容も多様化・複雑化しており、特に高齢の DV 被害者は、経済力がないことで自立への不安を感じたり、あきらめたりすることにより相談に繋がりにくいことが多い。</li> </ul>		

日常生活自立支援事業

【久留米市社会福祉協議会】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分なため、日常生活で支障のある人に対し、福祉サービスの利用や日常の金銭管理等のサービスを提供した。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		H30	R1
	利用者数	164人	163人
	うち認知症高齢者	80人	73人
	▽課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者や精神障害者の利用が増加傾向にあり、現行の体制では増加する利用者への対応には限界がある。</li> <li>・複合的な問題を抱えた相談者が増えており、関係機関との連携や専門員の福祉制度やサービスに対する知識の専門性が求められる。</li> </ul>		

☆生活困窮者自立相談支援事業及び家計改善支援事業

【生活支援第2課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門機関、行政窓口と連携し、生活困窮者からの相談を受け、継続して支援を行うことで、その人の自立を促した。</li> </ul>		
	▽事業実績		
		H30	R1
	自立相談支援事業	新規相談 1,035件	新規相談 1,131件
	就労支援対象者数	265人	324人
	就労・増収者数	122人	103人
	家計改善支援事業	新規面談件数 447件	新規面談件数 482件
	プラン作成件数	405件	496件
	貸付あっせん件数	16件	33件
		▽課題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業利用者の増加など高まる需要に対する相談体制のさらなる充実や、相談者の複合的で複雑な課題の解決に向けた関係機関や地域団体等と一体となった支援など、取り組みの強化を行う必要がある。</li> </ul>		

## 第7章 生活環境の整備

### 【施策の方向性】

高齢者の住まいについて、それぞれの状態に合った、安心して暮らすことができる住環境の確保に取り組む。また、安心して外出し、活動できる環境づくりのため、ユニバーサルデザインの視点での公共施設の整備・改修や移動手段の確保、交通安全対策に努める。

#### 1. 高齢者が安心して暮らせる住環境の確保

##### 高齢者向け住まいの整備・供給促進

市営住宅のバリアフリー化		【住宅政策課】
実施状況	・市営住宅の内部改修による段差解消、手すりの設置等のバリアフリー化を行った。	

一人暮らし高齢者の住宅確保支援		【住宅政策課】																
実施状況	<p>・単身者向けの市営住宅について入居募集を行い、住まいの安定した提供を図った。</p> <p>▽事業実績(R2.7.1時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期募集分</td> <td>年間計 36 戸募集 /18 戸入居</td> <td>年間計 31 戸募集 /21 戸入居</td> </tr> <tr> <td>随時募集分</td> <td>年間計 16 戸入居</td> <td>年間計 16 戸入居</td> </tr> </tbody> </table>		区分	実績		H30	R1	定期募集分	年間計 36 戸募集 /18 戸入居	年間計 31 戸募集 /21 戸入居	随時募集分	年間計 16 戸入居	年間計 16 戸入居					
区分	実績																	
	H30	R1																
定期募集分	年間計 36 戸募集 /18 戸入居	年間計 31 戸募集 /21 戸入居																
随時募集分	年間計 16 戸入居	年間計 16 戸入居																
指標達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標の内容</th> <th>単位</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th rowspan="3">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単身者向け市営住宅募集戸数</td> <td rowspan="3">戸</td> <td>目標値</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>36</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>達成度 (%)</td> <td>120.0</td> <td>103.3</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	単位	H30	R1	評価	単身者向け市営住宅募集戸数	戸	目標値	30	30	実績値	36	31	達成度 (%)	120.0	103.3	A
指標の内容	単位	H30	R1	評価														
単身者向け市営住宅募集戸数	戸	目標値	30		30													
		実績値	36		31													
		達成度 (%)	120.0	103.3														

高齢者住宅改造費の補助		【介護保険課】									
実施状況	<p>・要介護認定を受けた高齢者の自立支援等のための住宅改造費用について、その一部を助成した。要件は世帯全員が市民税非課税であり、要支援又は要介護の認定された者等。</p> <p>▽事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数</td> <td>6 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>1,602 千円</td> <td>942 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※介護保険サービスの住宅改修とは別のものです。</p>			H30	R1	補助件数	6 件	4 件	補助額	1,602 千円	942 千円
	H30	R1									
補助件数	6 件	4 件									
補助額	1,602 千円	942 千円									

☆住宅セーフティネット制度を活用した相談体制の充実

【住宅政策課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅確保要配慮者の円滑な入居支援に向け、相談体制、対応事例や、制度運用に関する課題等に関し、関係機関と意見交換を行った。</li> <li>・令和元年度には、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録を3件行った。</li> </ul>
------	--

高齢者向け住まいの質の確保

養護老人ホーム

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者について、養護老人ホームへの入所措置を行った。</li> </ul> <p>▽事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>年度末措置者数</td> <td>141人</td> <td>132人</td> </tr> </table>		H30	R1	年度末措置者数	141人	132人
	H30	R1					
年度末措置者数	141人	132人					

軽費老人ホーム・ケアハウス

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページにおいて、市内の軽費老人ホーム・ケアハウスに関する情報を掲載し、窓口、電話等においても、情報提供を行った。</li> <li>・社福法人に対する指導監査に合わせて、指導監査を行った(H30は4件、R1は2件)。</li> <li>・施設のサービス提供に要する費用のうち、入居者負担との差額について、運営費の補助を行った。</li> </ul> <p>▽課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進んでおり、建て替え、大規模改修への対応についての整理が必要である。</li> <li>・今後のケアハウス・軽費老人ホームの必要量について検討・精査が必要である。</li> </ul>
------	---

有料老人ホーム

【長寿支援課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の指針に基づいた適切な運営が確保されるよう、有料老人ホームに対し立入検査を実施した。</li> <li>・有料老人ホームとして届け出された施設について、ホームページにおいて情報提供を行った。</li> </ul> <p>▽事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>立入検査</td> <td>36施設</td> <td>26施設</td> </tr> <tr> <td>届出施設数 (R1.4.1時点)</td> <td>52施設/定員1,813</td> <td>57施設/定員1,928</td> </tr> </table>		H30	R1	立入検査	36施設	26施設	届出施設数 (R1.4.1時点)	52施設/定員1,813	57施設/定員1,928
	H30	R1								
立入検査	36施設	26施設								
届出施設数 (R1.4.1時点)	52施設/定員1,813	57施設/定員1,928								
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価				
			目標値	35	50					
	立入検査施設数 (累計)	件	実績値	36	62	A				
			達成度 (%)	102.9	124.0					

サービス付き高齢者向け住宅

【住宅政策課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム」等によって適切な情報発信を行った。</li> <li>・計画的に立入検査を実施することで、登録内容の現地確認や適正な管理に向けた助言・指導を行った。</li> </ul>		
		H30	R1
	登録施設数	16棟 687戸	16棟 687戸
	立入検査数	9施設	5施設

2. ユニバーサルデザインのまちづくり

バリアフリー化の推進

ユニバーサルデザインの視点から公共施設等の整備・バリアフリー化

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎西側玄関扉改修工事や総合福祉会館等の公共施設のトイレ改修工事、エスカレーターの速度調整等を行い、バリアフリー化を進めた。</li> </ul>
------	--

歩道のバリアフリー化

【道路整備課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業」に位置づけられた路線の、歩道改良・視覚障害者誘導ブロック設置を行った。</li> </ul>
------	--

☆主要バス停の環境改善

【交通政策課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの利用環境改善のため、主要バス停への上屋・ベンチ設置や、バスロケーションシステム表示機設置により、わかりやすい運行情報の提供を行った。</li> </ul>
------	--

低床バスの導入促進

【交通政策課】

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低床車両（ノンステップバス・ワンステップバス）の導入へ向けて、関係機関との協議を行い、導入促進を図った。うち、ノンステップバスについては令和元年度に3台導入した。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
	市内路線バスの 低床車両導入率	%	目標値	82	86	
			実績値	89.5	94.7	A
達成度(%)	109.1	110.1				

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等の中心市街地への外出や買い物、まちあるき等のサポートや、事業の広報・周知を行った。</li> <li>・高齢者や障害者などの中心市街地への来街が促進されたほか、商店街で車椅子での来店を受け入れる店舗が増加するなど、人にやさしい商店街づくりが推進された。</li> <li>・活動拠点を一番街プラザに移し、利用者がサロンスペースを活用できるようにした。</li> </ul>	
	▽事業実績	
		H30
	タウンモビリティの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎、買い物・活動介助(年間 271 回)</li> <li>・車椅子、スクーター等の無料貸し出し</li> </ul>
	イベントの開催	年間 11 回(花見、クリスマス会など)
チラシの作成・配布	18,000 部	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口構造や社会環境等が大きく変化し、利用者の高齢化に伴う利用者数の減少や商店街の業種の変化などに課題を抱える中で、今後中心市街地活性化を目的として、安定的かつ効果的に実施していく見通しを立てることが困難な状況にある。</li> <li>・H30 年度をもって事業休止。</li> </ul>		

### 3. 高齢者が円滑に移動できる環境整備

#### 生活支援交通の確保

生活支援交通の確保		【交通政策課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北野地域及び城島地域にて、よりみちバスの運行を継続して実施した。</li> <li>・地域との協働による検討会を実施し、よりみちバスの運行ルートやダイヤの見直しを実施した。</li> </ul> タクシーを活用したコミュニティタクシーの推進を図った。 (令和2年3月末時点導入校区数 17 校区)。					
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	2		3
	よりみちバス 導入地域数(総数)	地域	実績値	2	2	B
			達成度(%)	100.0	66.6	

## 高齢者の交通事故防止

高齢者の交通事故防止		【安全安心推進課】				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の交通事故を防止するため、警察等と連携し、体験型の交通安全教室開催などに取り組んだ。</li> </ul>					
	▽事業実績					
	実施内容		実績			
			H30	R1		
	交通事故防止キャンペーン		12回	12回		
	出前講座		11回	11回		
	交通安全運動説明会		春・秋	-		
安全安心マップの作成		1校区	-			
シルバーセーフティスクール (体験型交通安全講習)		1回	1回			
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に民間企業と連携し、安全運転支援装置試乗体験会を5回実施した。</li> </ul>						
▽課題						
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者関連事故件数は減少傾向にあるが、全交通事故件数に占める高齢者関連事故件数の割合は3割と高い。</li> </ul>						
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価	
			目標値	100.5		100
			実績値	84.5	65.6	A
	高齢者1万人あたり の高齢者関連事故件数	件	達成度(%)	100 (減少目標のため100%以上 は100と表示)	100 (減少目標のため100%以上 は100と表示)	

## 第8章 介護保険事業の円滑な実施

### 【施策の方向性】

事業者への支援や指導など、サービスの質の向上を図りながら、制度を持続可能なものとしていくため、介護保険事業の適正かつ円滑な運用に努める。

#### 1. 保険者機能の発揮・向上

##### 「見える化」システムを活用した計画推進体制の構築

☆「見える化」システムを活用した計画推進体制の構築		【介護保険課】
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア「見える化」システムを活用して、他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握し、計画推進協議会で関係者と共通理解を持った。</li> </ul>	

##### 介護予防・日常生活支援総合事業評価事業

☆介護予防・日常生活支援総合事業評価事業		【介護保険課】
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業のうち、訪問型・通所型サービスAについて、評価指標をもとに事業の見直しを行った。</li> <li>・令和元年度には、国の示す評価指標や他市の事例等を参考に、本市における評価指標の作成を行い、事業の実施状況の評価を行った。</li> </ul>	

#### 2. 介護サービスの質の確保

##### 介護支援専門員（ケアマネジャー）・介護サービス従事者研修会

新人ケアマネジャー研修の開催		【介護保険課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務経験の浅いケアマネジャーに対し研修を行った。</li> </ul>				
	▽事業実績				
	研修参加者数	<table border="1"> <tr> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>18人</td> <td>16人</td> </tr> </table>	H30	R1	18人
H30	R1				
18人	16人				

集団指導及び新規指定オリエンテーションの実施

【介護保険課】

実施状況	・市内の介護保険サービス事業所の管理者等を対象として、介護サービスの質の向上や高齢者虐待防止等を内容とする集団指導を実施した。 ▽事業実績					
			H30	R1		
	介護保険事業所の管理者対象の研修					
	開催回数		全5回	全5回		
	参加者数		471人	495人		
	指定地域密着型サービス事業所の管理者対象の研修					
	開催回数		全1回	全1回		
	参加者数		142人	142人		
	・新規指定オリエンテーションは毎月時実施し、平成30年度42事業所、令和元年度54事業所に実施。					
	指標達成状況	指標の内容	単位		H30	R1
目標値				680	690	
研修会等参加者数		人	実績値	655	691	A
			達成度 (%)	96.3	100.1	

介護相談員による施設等入所者支援

介護相談員による施設等入所者支援

【介護保険課】

実施状況	・介護相談員を介護保険施設へ派遣し、利用者やその家族の介護に関する相談に対応した。 ▽事業実績					
			H30	R1		
	相談員数		10人	10人		
	派遣先施設数		77施設	77施設		
	介護老人福祉施設		6施設	6施設		
	老人保健施設		5施設	5施設		
	療養型医療施設		1施設	-		
	介護医療院		2施設	3施設		
	地域密着型特別養護老人ホーム		16施設	16施設		
	グループホーム		28施設	28施設		
	小規模多機能型居宅介護		19施設	19施設		
	▽課題					
	・介護相談員の高齢化が懸念されており、今後も安定的に事業を運営できるよう人材確保を行う必要がある。 ・派遣事業所の中には介護相談員に関する理解が不十分な事業所もある。					
指標達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	75	75	
	派遣対象事業所数	事業所	実績値	77	77	A
			達成度 (%)	102.7	102.7	

## 実地指導等による質の確保

実地指導等による質の確保			【介護保険課】			
実施状況	・介護サービス事業の適正な運営やリスクマネジメントの考え方等についての意識啓発を促すための実地指導を実施した。 ▽事業実績					
		H30	R1			
	実地指導実施件数	86件	105件			
	監査実施件数	1件	-			
	うち改善勧告	1件	-			
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	100	100	
	対象事業所数	事業所	実績値	86	105	A
			達成度 (%)	86.0	105.0	

## 介護人材確保・従事者定着への支援

介護人材の安定確保支援事業			【介護保険課】			
実施状況	・介護人材の安定確保及びイメージアップのため、「くるめの介護の魅力フォトコンテスト」や中高生を対象とした介護職との交流会等を開催した。 ▽課題					
	・イベント等の集客性、費用対効果等の観点を踏まえたうえで、今後どのような視点で事業を展開していくか検討する必要がある。					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	60	70	
	交流会等参加者数	人	実績値	19	19	C
			達成度 (%)	31.7	27.1	

## 介護人材の育成・定着支援事業

介護人材の育成・定着支援事業		【介護保険課】			
実施状況	・事業を委託する「NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会」に組織される専門部会（介護支援専門員、訪問介護、福祉用具、訪問看護、グループホーム、小規模多機能、障害者、施設、有料老人ホーム、ソーシャルワーカー）での研修、業界全体の育成や定着を主眼とした全体研修や認知症ケア研修を開催した。				

### 3. 給付の適正化

#### ケアプランとサービス利用状況のチェック

ケアプランのチェック				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度においては、これまでに点検未実施であった居宅介護支援事業所が作成するケアプランの点検・検証を行った</li> <li>令和元年度においては、昨年度までに概ねすべての事業所の点検を実施したことから、直近でケアプラン点検を行っていない事業所を中心にケアプランの点検・検証を行った。</li> </ul> ▽事業実績					
	点検対象事業所		点検、検証実績			
	居宅介護支援事業所		H30 23事業所 /68プラン	R1 23事業所 /69プラン		
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	24	24	
	ケアプランチェック 対象事業所数	事業所	実績値	23	23	B
			達成度 (%)	95.8	95.8	

介護レセプトのチェック				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険団体連合会の審査支払等のシステムにより給付の整合性について確認するために情報提供がなされたものについて、事業所への確認を行うなど、給付の適正化を図った。</li> </ul> ▽事業実績					
			H30	R1		
	点検件数		86件	90件		
	効果額		1,399千円	860千円		

#### 住宅改修及び福祉用具の点検

住宅改修及び福祉用具の点検				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅改修の実施又は福祉用具の利用について、受給者の身体の状態に応じた対応を推進するための実態確認や訪問点検を行った。</li> </ul>					
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	20	20	
	住宅改修・ 福祉用具の点検	件	実績値	9	6	C
			達成度 (%)	45.0	30.0	

## 介護給付費通知の発送

☆介護給付費通知の発送		【介護保険課】			
実施状況	・令和元年度において、介護サービス利用者に対し、サービスの請求内容や給付状況等について介護給付費通知を3回発送した。				
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価
	給付費発送回数	回	目標値	2	
			実績値	0	3
達成度 (%)	0	100			

## 4. 適正な要介護認定

### 正確かつ迅速な認定調査（訪問調査）の実施

正確かつ迅速な認定調査（訪問調査）の実施		【介護保険課】			
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市・社協・委託事業所との合同研修会を開催し、ロールプレイを行いながら実践的な内容を取り入れスキルアップに努めた。（令和元年度実施）</li> <li>・また、日常的には、厚生労働省による認定調査員向け研修システム(eラーニング)を活用し、調査の平準化に努めた。</li> </ul>				
			H30	R1	
	30日以内認定率		34.5%(平均 36.3 日)	22.1%(平均 39.0)日	
	2週間以内調査率		41.7%	28.3%	
指標 達成状況	指標の内容	単位	H30	R1	評価
	eラーニング システム受講率	%	目標値	100	
			実績値	71.4	73.3
達成度 (%)	71.4	73.3			

## 介護認定審査会の円滑な運営

介護認定審査会の円滑な運営				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会と連携し各医師会に出向き研修を行った。</li> </ul> ▽事業実績					
	研修対象		参加者数			
			H30	R1		
	浮羽医師会		30人	30人		
	大川三潯医師会		30人	-		
久留米医師会		50人	50人			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査会アドバイザー派遣研修を受講し、その学びを全体の審査委員(90人)で共有した。(令和元年度実施)</li> </ul>						
指標 達成状況	指標の内容	単位		H30	R1	評価
			目標値	90	90	
	研修会等参加者数	人	実績値	110	80	B
			達成度(%)	122.2	88.9	

## 5. 介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実

### 介護保険制度の周知・啓発

介護保険制度の周知・啓発				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援パンフレットの改訂を行い、出前講座や窓口での説明において活用した。</li> <li>・介護保険制度の正しい制度理解の促進のため、地域包括支援センターや居宅介護事業所の新人職員に対し、研修を行った。</li> <li>・令和元年11月8日(土)、9日(日)に事業者協議会と共催で『第2回くまめ福祉みらい博』を開催し、「認知症ケアと地域社会」についての講演会、福祉用具・医療機器等の展示・体験、家族介護教室の開催などのイベントを通じて、市民の方へ正しく新しい情報が伝わるよう努めた。</li> </ul>					

### 共生型サービスの円滑な事業の開始

☆共生型サービスの円滑な事業の開始				【介護保険課】		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型サービスについて、事業所に対する集団指導において説明し、円滑なサービス開始に努めた。</li> <li>・令和2年度より、総合事業においても共生型サービス事業所の指定を行うことができるよう、規則等を改正した。</li> </ul>					
	事業所区分		指定件数			
			H30	R1		
	共生型通所介護		3件	-		
	共生型密着型通所介護		1件	-		
共生型短期入所生活介護		4件	-			
※令和元年度は相談のみで、指定はなし。						

## 市民からの相談受付体制・苦情対応体制の充実

### 市民からの相談受付体制・苦情対応体制の充実

【介護保険課】

実施状況	・市に寄せられた相談について適切な対応を行った。また、必要に応じて関係機関と情報共有を行った。
------	---

## 6. 介護サービス事業所に対する防火対策の啓発・指導

### 介護サービス事業所に対する防災対策の啓発・指導

【介護保険課】

実施状況	・集団指導において防災対策をテーマに講習会形式の指導を実施した。その際、防災対策につながるような啓発資料を配布した。 ・実地指導及び指定更新に伴う現地確認の際には、非常災害対策のマニュアル等の整備状況、防災訓練の計画策定や訓練の実施状況等を確認し指導するとともに、消火器の設置、スプリンクラー、火災報知設備の設置など、消防法に準拠した設備の設置状況等を確認し指導を行った。
------	---